

国民健康保険の保険料水準統一に 向けた取組みについて

目 次

1 県内の保険料水準統一の取組み

P 2 ～

令和15年度（遅くとも令和18年度）までに県内市町村の保険料(税)が統一されます

2 保険料水準統一に向けた応能割・応益割の比率見直し

P 6 ～

保険料水準統一に向け、県内市町村平均に近付ける保険税率の見直しが必要です

3 財政状況～収支不足の見通し～

P 8

中期的な財政推計では、近い将来、収支不足が想定されます

4 まとめ ～松本市国民健康保険のこれからの取組み～

P 9

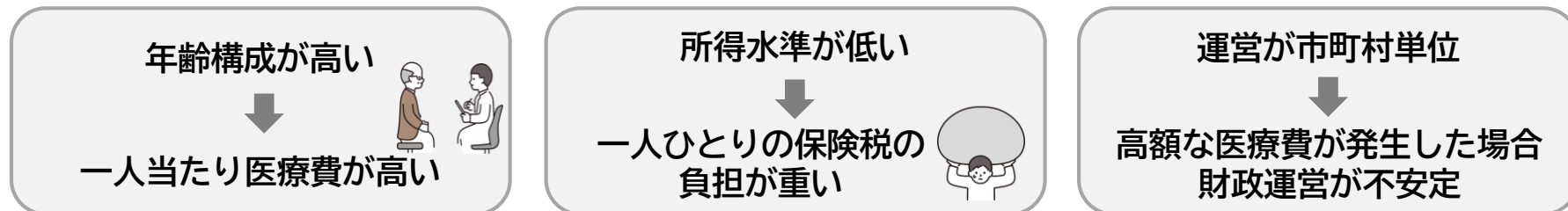
急激な被保険者負担の変化を避けるため、段階的な保険税率の見直しが必要です

1 県内の保険料水準統一の取組み その①

令和15年度(遅くとも令和18年度まで)に県内全ての市町村の保険料(税)が統一されます。

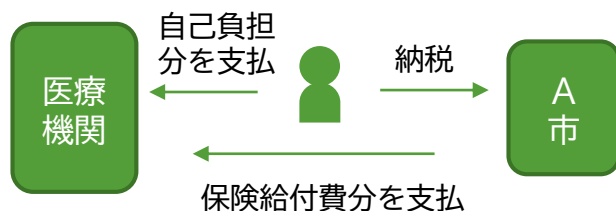
※ 現在は、お住まいの市町村ごとに保険料率が異なります。

背景 ～国保制度の構造的な課題～



対応① ～平成30年度国保制度改革（財政運営の県域化）～

平成29年度以前（市町村単位の運営）



- ・市町村ごとの税収で保険給付

特に小規模保険者では
財政不安定 😞

- ・財政の安定化 😊
- ・リスクの分散

平成30年度以降（財政運営は県単位）



- ・市町村は保険税相当額を県へ納付
(県全体の保険給付費、医療費水準等を反映し、各市町村が納める納付金額が決定)
- ・県は全県の保険税等を集め、市町村へ実績に応じて保険給付額を交付

1 県内の保険料水準統一の取組み その②

対応② ～保険料水準の統一（国保運営広域化の深化）～

段階的に

令和15年度(令和18年度まで)に県内市町村の保険料を完全統一

国民健康保険の運営を広域化することで、安定的な運営を図ります。

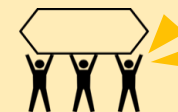
これまで

- ◆ 松本市だけで支える仕組み
→ 市町村ごとに保険料率を設定
- ◆ 市町村ごとにサービス（保険給付等）
が異なる



完全統一

- ◆ 県全体で支えあう仕組み
→ 県内で保険料率が同じ
- ◆ どの市町村に住んでいても、同じ
サービス（保険給付等）が受けられる



保険料水準統一に向けた県内スケジュール

STEP1

令和12年度までに、市町村ごとの医療費水準の納付金への反映を取り止め（医療費指数の統一）

STEP2

令和15年度（令和18年度まで）に県内の保険料を完全統一

1 県内の保険料水準統一の取組み その③

保険料水準統一によるメリット①

「STEP1 医療費指数の統一」により、松本市全体の保険税負担が低下

短期的な視点

【医療費指数とは？】

医療費の地域差を表す指標。全国平均を1として、その市町村の医療費が平均より多いか少ないかを表します。（松本市 1.016、長野県 0.953）

医療費指数が高い＝医療機関が多く医療にかかりやすい・高額な医療を受ける人が多い状況

➡市町村の医療費水準に差があることから、現在は県に納める納付金の算定に、市町村ごとに異なる医療費指数を乗じて調整しています。

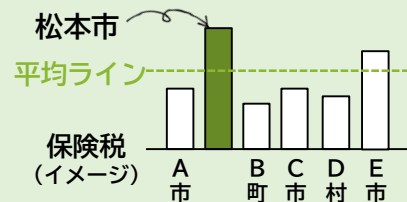
松本市はどうなるの？

松本市は医療費指数が高く、現在は県への納付金を多く支払っていますが、医療費指数統一により“納付金が少なく”＝“保険税の負担が小さく”なります。

現状

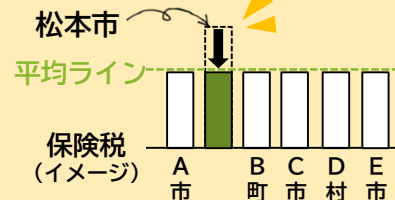
本市は、他市町村と比較して医療費が高い
➡その分納付金が多い➡保険税負担が大きい

医療費が高い
➡納付金が高い
➡保険税も高い



統一すると

県全体で支え合う仕組みとなり
保険税負担が低下！



全県で統一
➡松本市の納付金は下がる
➡保険税負担を小さく
することが可能！

1 県内の保険料水準統一の取組み その④

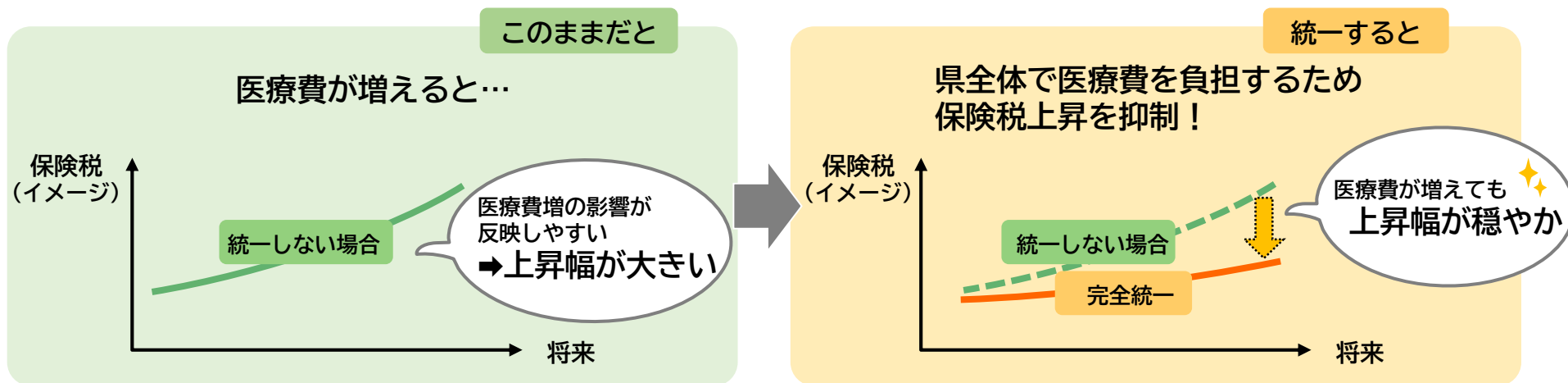
保険料水準統一によるメリット②

「STEP2 完全統一」により、急に医療費が増えた場合の保険税上昇を抑制

長期的な視点

松本市はどうなるの？

将来、急に本市の医療費が増えた場合でも、県全体で医療費を負担する仕組みになるため、医療費増の影響が保険税の上昇に反映しづらくなります。



【統一による財政安定化】

平成30年度に財政運営が県域化しました。しかし、県に納める事業費納付金の算定には、国保料(税)収納率や国県補助金等の個別公費など、市町村ごとに異なるものの調整がなされている状況です。

➡完全統一により、サービス・事業が統一され、市町村ごとの差が完全に無くなります。
公平で、安定した国保運営を目指します。

2 保険料水準統一に向けた、応能割・応益割の比率見直し その①

松本市の保険税率は、県が示す割合や、県内他市の割合と比較すると、**応能割が高く、応益割が低い設定**となっており、**保険料水準統一に向けて、県が示す割合に近づけていく必要があります。**

応能割・応益割とは？

保険税の賦課方法には、所得に応じた応能割と受益に応じた応益割がある。

	応 能 割	応 益 割
種類	・ 所得割（所得に応じて）	・ 均等割（1人当たり） ・ 平等割（1世帯当たり）
メリット	・ 低所得者は負担が小さい	・ 所得変動に左右されにくい
デメリット	・ 中所得者層に負担が集中しやすい ・ 少しの所得変動で負担が急増	・ 低所得者にとって負担大 ・ 世帯構成ごと不公平感

応能割・応益割の比率を見直すことの課題

松本市の現状

応能割が高く、応益割を低く設定

低所得者に配慮した設定

統一すると

松本市はどうなるの？

応益割の割合が増える見込み

低所得者の負担が増える可能性があります

※ ただし、低所得者の方には保険税軽減制度（7・5・2割軽減）が適用されるため、負担の増加分も抑えられる仕組みになっています。

▼ 保険税負担割合の変化

	応能割	：	応益割
松本市（現行）	62%	：	38%
県内19市平均	55%	：	45%

※ R15年度完全統一の
応能応益割見込み

R15年度
完全統一

県標準保険税率※ （県が示す割合）	49%	：	51%
----------------------	-----	---	-----

松本市で取り組むべきこと

段階的に応能割を引き下げ、応益割を引き上げることで、低所得者の方の急激な負担増加を抑制

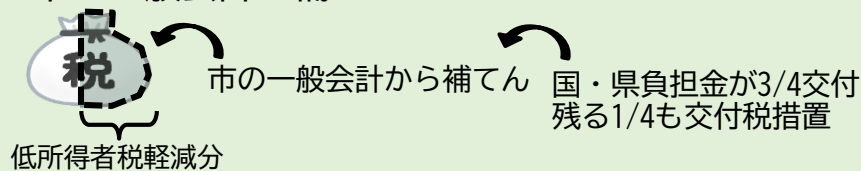
2 保険料水準統一に向けた、応能割・応益割の比率見直し その②

応能割・応益割の比率を見直すことによる効果

1 被保険者にとって

<低所得者への保険税軽減制度>

- ① 低所得者の応益割負担を7割～2割軽減する制度
(被保険者の50%超が対象の状況)
→ 軽減対象とならない中所得者の負担が大きい。
- ② 低所得者の応益割の保険税軽減分は国・県の負担金や市の一般会計で補てん



応能割を引き下げることで…

- ① 中所得者層の負担が緩和
→ 所得階層別の負担の不均衡の解消
- ② 保険税軽減分が増え、国・県負担金が増加することで、必要となる保険税総額の抑制が可能
→ 保険料負担の緩和

2 市町村にとって

<被用者保険の適用拡大>

被用者保険の対象範囲が拡大され、比較的所得の高い被保険者が国保から被用者保険へ移行
→ 応能割が高いと、財政が不安定化

応能割を引き下げることで…

→ 財政の安定化



応能割を引き下げることで、所得階層別の負担の均衡と、財政運営の安定化が図られます。

3 財政状況～収支不足の見通し～

年度	松本市の財政状況と対応
R2～3	単年度収支が黒字
R4	黒字分を財源として税率引下げ（R7年度に収支均衡できる税率に戻す想定）
R7～8	保険税収の増により、収支改善 → 保険税率引上げを見送り
R9以降	大幅に基金を取り崩さないと形式収支が赤字の見込み
R11	基金が底を尽き、形式収支が赤字の見込み → 財政運営ができなくなる

		税率引下げ		税率引上げを見送り			(単位：千円)		
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
歳入(A)		23,498,811	23,215,594	22,504,119	22,354,629	21,506,929	21,185,845	20,936,584	20,290,944
	うち基金繰入金	0	0	0	0	6,538	256,374	329,013	52,941
歳出(B)		22,853,853	22,696,753	22,168,762	22,145,845	21,506,929	21,185,845	20,936,584	20,639,534
形式収支 (C)=(A)-(B)		644,958	518,841	335,357	208,784	0	0	0	△ 348,590
単年度収支		△ 219,056	△ 126,117	△ 183,484	△ 126,573	△ 215,323	△ 256,374	△ 329,013	△ 401,531
財政調整基金		633,170	633,565	634,026	636,886	633,008	379,294	52,941	0

※ 令和8年1月時点の財政推計

松本市で取り組むべきこと

収支不足の解消のため、令和9年度から令和11年度までの間に税率改定が必要

4 まとめ ～松本市国民健康保険のこれからの取組み～

保険料統一に向けた取組みにより、保険税負担が変わることが見込まれます。

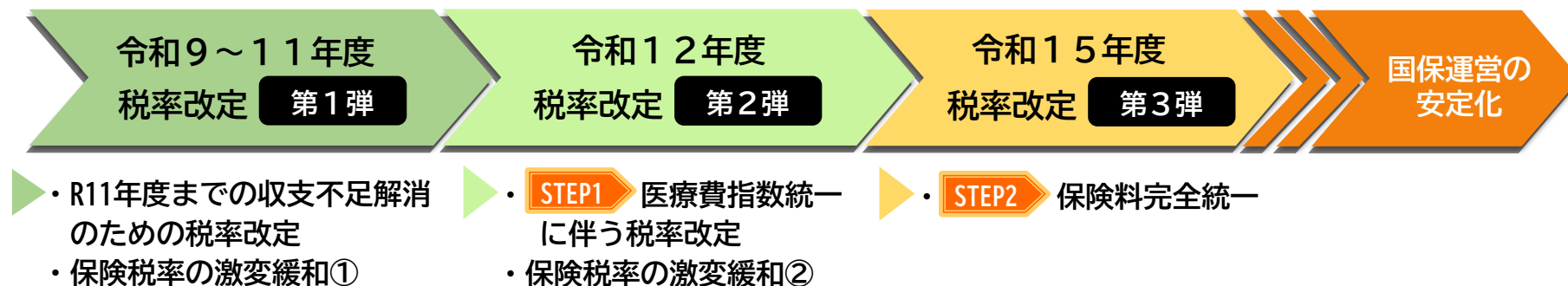
しかし、この取組みは、国保加入者の皆さまが将来にわたって安心して医療を受けられる制度を守っていくために、必要なものです。

松本市としても、皆さまの負担が大きく変化しないよう配慮し、持続可能な国保運営に取り組んでいきます。

松本市のこれからの国保財政運営におけるポイント

- ・ 保険料水準統一に向け、急激な被保険者負担の変化を避けるため、段階的に応能割を引き下げ、応益割を引き上げることが必要
- ・ 収支不足に対応した税率改定が必要。適切な時期に改定を行うことで、引上げ幅の小さい緩やかな改定が可能

松本市における税率改定スケジュール（案）



国民健康保険特別会計 財政推計（現行税率） ※令和8年1月時点

（単位：千円）

区分	項 目	令和4年度 決算額 D	令和5年度 決算額 E	令和6年度 決算額 F	令和7年度 決算見込 G	令和8年度 見積額 H	令和9年度 見積額 I	令和10年度 見積額 J	令和11年度 見積額 K	推計方法
歳入	国民健康保険税	4,569,488	4,529,327	4,574,397	4,684,154	4,698,982	4,628,761	4,565,657	4,461,292	令和7年度当初賦課の一人当たり調定額に過去5年平均増減率を乗じ、さらに、推計被保数を乗じて算出
	使用料及び手数料	3,030	2,874	3,326	2,790	3,430	3,430	3,430	3,430	令和8年度当初予算見積額
	国庫支出金	875	1,055	16,215	180	0	0	0	0	令和8年度当初予算見積額
	県支出金	16,477,550	16,509,296	15,958,869	15,674,870	15,374,110	15,063,841	14,819,120	14,578,371	保険給付費積算額に保険給付費に対する県支出金の割合の過去3年平均を乗じて算出
	財産収入	369	395	695	2,620	2,660	2,660	2,660	0	令和8年度当初予算見積額
	繰入金	1,399,437	1,326,622	1,244,935	1,519,755	1,180,522	1,448,713	1,507,277	1,209,411	
	うち基盤安定繰入金	1,098,679	1,047,816	1,022,219	1,005,155	976,185	965,319	958,782	944,276	令和7年度当初賦課の軽減者数割合により、推計被保数から対象者を推計し、算出
	うち特例繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	令和8年度当初予算見積額
	うち基金繰入金	0	0	0	0	6,538	256,374	329,013	52,941	令和8年度当初予算見積相当額
	繰越金	864,014	644,958	518,841	335,357	208,785	0	0	0	前年度形式収支
	諸収入	184,048	201,067	186,841	134,903	38,440	38,440	38,440	38,440	令和8年度当初予算見積額
計		23,498,811	23,215,594	22,504,119	22,354,629	21,506,929	21,185,845	20,936,584	20,290,944	
歳出	総務費	134,786	134,550	150,886	413,180	142,000	142,000	142,000	142,000	令和8年度当初予算見積相当額
	保険給付費	16,293,723	16,207,998	15,757,242	15,521,520	15,146,130	14,907,432	14,673,329	14,443,661	一人当たり保険給付費に過去3年平均増減率を乗算
	国保事業費納付金	5,988,338	5,917,965	5,749,859	5,814,938	5,924,079	5,864,483	5,849,325	5,784,603	一人当たり納付金額に過去3年平均増減率を乗じ、さらに推計被保数を乗じて算出
	保健事業費	203,603	198,676	194,450	199,280	201,200	201,200	201,200	201,200	令和8年度当初予算見積額
	積立金	369	395	460	2,860	2,660	2,660	2,660	0	令和8年度当初予算見積額
	諸支出金	233,034	237,169	315,865	194,067	90,860	68,070	68,070	68,070	令和8年度当初予算見積額
	予備費	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		22,853,853	22,696,753	22,168,762	22,145,845	21,506,929	21,185,845	20,936,584	20,639,534	

収支	形式収支 （翌年度繰越額/不足額）	644,958	518,841	335,357	208,784	0	0	0	△ 348,590	
	単年度収支	△ 219,056	△ 126,117	△ 183,484	△ 126,573	△ 215,323	△ 256,374	△ 329,013	△ 401,531	

財政調整基金残高	633,170	633,565	634,026	636,886	633,008	379,294	52,941	0	
収支（基金反映後）	1,278,128	1,152,406	969,383	845,670	633,008	379,294	52,941	△ 348,590	

令和6年度 1人当たり調定額、保険税の応能・応益割等の状況【中核市】

<出典>

- ・ 1人当たり調定額、1人当たり保険給付費、1人当たり基金現在額 … 松本市による中核市に対する調査結果（令和7年6月調べ）
- ・ 保険税の応能・応益割 … 川越市による中核市に対する調査結果（令和7年5月調べ）※令和5年度の数値

		1人当たり 調定額		保険税の応能・応益割※令和5年度									1人当たり 保険給付費		1人当たり 基金現在額	
				医療分			支援分			介護分						
		金額（円）	順位	応能%	応益%	応能割 順位	応能%	応益%	応能割 順位	応能%	応益%	応能割 順位	金額（円）	順位	金額（円）	順位
1	松本市	130,866	16	59.5%	40.5%	6	62.2%	37.8%	4	60.4%	39.6%	1	379,008	30	15,250	35
2	函館市	96,970	60	47.4%	52.6%	51	47.4%	52.6%	49	47.4%	52.6%	43	425,168	9	31,109	18
3	旭川市	96,460	61	42.1%	57.9%	62	42.0%	58.0%	62	41.7%	58.3%	61	427,344	8	17,319	32
4	青森市	121,073	32	51.1%	48.9%	28	46.5%	53.5%	54	48.4%	51.6%	36	367,585	40	13,925	38
5	八戸市	109,502	50	48.0%	52.0%	48	47.4%	52.6%	48	44.5%	55.5%	54	373,523	37	34,781	13
6	盛岡市	119,569	34	52.5%	47.5%	22	54.6%	45.4%	13	52.6%	47.4%	11	387,137	23	14,103	37
7	秋田市	130,837	17	48.0%	52.0%	49	48.4%	51.6%	46	44.6%	55.4%	53	417,999	11	33,692	14
8	山形市	144,994	7	56.7%	43.3%	12	56.7%	43.3%	11	51.6%	48.4%	16	388,229	20	18,300	30
9	福島市	110,322	46	52.7%	47.3%	21	52.4%	47.6%	22	49.6%	50.4%	31	347,717	50	21,489	24
10	郡山市	128,952	21	50.7%	49.3%	31	53.6%	46.4%	18	46.5%	53.5%	47	332,049	56	18,640	29
11	いわき市	116,531	39	49.3%	50.7%	42	50.0%	50.0%	39	50.7%	49.3%	22	372,553	38	32,053	16
12	水戸市	130,049	19	59.2%	40.8%	7	59.6%	40.4%	7	50.8%	49.2%	21	303,311	61	0	－
13	宇都宮市	129,509	20	49.9%	50.1%	39	50.2%	49.8%	34	47.7%	52.3%	39	355,118	45	3,306	46
14	前橋市	109,675	49	52.9%	47.1%	18	52.0%	48.0%	23	52.5%	47.5%	12	350,008	48	10,280	44
15	高崎市	102,511	54	50.1%	49.9%	36	54.0%	46.0%	14	49.9%	50.1%	30	354,727	46	40,670	10
16	川越市	126,015	25	63.4%	36.6%	4	62.1%	37.9%	5	56.9%	43.1%	4	334,509	55	0	－
17	川口市	133,210	14	64.8%	35.2%	1	65.5%	34.5%	2	47.8%	52.2%	38	301,554	62	132,089	2
18	越谷市	136,571	11	63.7%	36.3%	3	60.2%	39.8%	6	60.3%	39.7%	2	327,604	58	0	－
19	船橋市	125,925	26	58.2%	41.8%	10	67.5%	32.5%	1	52.4%	47.6%	13	316,980	59	69	50
20	柏市	150,315	3	57.4%	42.6%	11	58.2%	41.8%	9	53.6%	46.4%	7	315,730	60	23,442	23

		1人当たり 調定額		保険税の応能・応益割※令和5年度									1人当たり 保険給付費		1人当たり 基金現在額	
				医療分			支援分			介護分						
		金額（円）	順位	応能%	応益%	応能割 順位	応能%	応益%	応能割 順位	応能%	応益%	応能割 順位	金額（円）	順位	金額（円）	順位
21	八王子市	136,076	12	52.7%	47.3%	20	53.6%	46.4%	17	51.8%	48.2%	15	331,582	57	0	－
22	横須賀市	125,869	27	50.1%	49.9%	35	50.2%	49.8%	35	50.3%	49.7%	27	369,238	39	18,125	31
23	富山市	113,256	44	51.0%	49.0%	29	51.5%	48.5%	24	51.6%	48.4%	17	377,028	34	58,629	5
24	金沢市	125,780	28	54.0%	46.0%	14	50.0%	50.0%	38	50.0%	50.0%	29	388,758	19	16,723	33
25	甲府市	126,898	23	51.3%	48.7%	25	48.5%	51.5%	45	51.0%	49.0%	19	334,523	54	74,276	3
26	長野市	115,277	40	59.0%	41.0%	8	57.3%	42.7%	10	51.1%	48.9%	18	378,004	31	20,082	25
27	岐阜市	137,152	10	53.0%	47.0%	17	52.8%	47.2%	21	50.9%	49.1%	20	385,319	24	10,799	42
28	豊橋市	135,099	13	53.8%	46.2%	15	53.7%	46.3%	16	53.3%	46.7%	9	338,987	52	7,940	45
29	岡崎市	147,551	5	52.8%	47.2%	19	52.8%	47.2%	20	52.7%	47.3%	10	336,394	53	15,244	36
30	一宮市	142,625	8	59.0%	41.0%	9	63.2%	36.8%	3	59.5%	40.5%	3	349,620	49	3,156	47
31	豊田市	128,142	22	54.8%	45.2%	13	54.7%	45.3%	12	55.0%	45.0%	5	341,911	51	30,987	19
32	大津市	120,789	33	50.0%	50.0%	37	50.0%	50.0%	37	50.5%	49.5%	23	377,670	32	13,787	39
33	豊中市	148,927	4	48.5%	51.5%	45	49.0%	51.0%	43	47.0%	53.0%	45	377,528	33	0	－
34	吹田市	161,222	1	51.2%	48.8%	26	51.2%	48.8%	29	52.2%	47.8%	14	390,052	17	186,482	1
35	高槻市	137,492	9	47.6%	52.4%	50	47.0%	53.0%	51	42.7%	57.3%	59	415,244	12	0	－
36	枚方市	130,401	18	45.6%	54.4%	57	46.0%	54.0%	56	41.6%	58.4%	62	392,247	16	10,405	43
37	八尾市	159,880	2	43.5%	56.5%	60	43.4%	56.6%	60	43.9%	56.1%	56	365,113	42	16,553	34
38	寝屋川市	147,469	6	44.1%	55.9%	58	44.3%	55.7%	58	43.9%	56.1%	57	358,610	44	11,641	41
39	東大阪市	122,643	31	42.1%	57.9%	61	42.9%	57.1%	61	42.1%	57.9%	60	382,024	27	46,791	7
40	姫路市	105,765	52	46.1%	53.9%	55	46.7%	53.3%	53	46.0%	54.0%	49	374,400	35	33,154	15
41	尼崎市	113,695	43	64.3%	35.7%	2	49.1%	50.9%	42	50.4%	49.6%	26	383,116	26	19,573	28
42	明石市	100,172	56	47.3%	52.7%	52	46.3%	53.7%	55	44.4%	55.6%	55	387,876	22	29,193	20
43	西宮市	126,028	24	49.3%	50.7%	43	51.4%	48.6%	25	48.9%	51.1%	33	381,081	28	19,918	26
44	奈良市	118,740	36	50.4%	49.6%	33	50.6%	49.4%	32	45.6%	54.4%	51	373,724	36	2,524	48

		1人当たり 調定額		保険税の応能・応益割※令和5年度									1人当たり 保険給付費		1人当たり 基金現在額	
				医療分			支援分			介護分						
		金額（円）	順位	応能%	応益%	応能割 順位	応能%	応益%	応能割 順位	応能%	応益%	応能割 順位	金額（円）	順位	金額（円）	順位
45	和歌山市	109,948	48	49.5%	50.5%	40	47.2%	52.8%	50	46.6%	53.4%	46	380,442	29	0	-
46	鳥取市	90,404	62	45.8%	54.2%	56	45.9%	54.1%	57	44.6%	55.4%	52	397,011	14	44,661	8
47	福井市	118,821	35	52.5%	47.5%	23	53.9%	46.1%	15	54.5%	45.5%	6	394,816	15	40,138	11
48	松江市	117,370	38	53.0%	47.0%	16	50.5%	49.5%	33	53.5%	46.5%	8	428,128	7	42,494	9
49	倉敷市	104,744	53	48.0%	52.0%	47	49.2%	50.8%	40	47.7%	52.3%	40	388,184	21	31,232	17
50	呉市	109,967	47	44.0%	56.0%	59	44.2%	55.8%	59	43.0%	57.0%	58	452,687	4	48,269	6
51	福山市	125,027	29	46.7%	53.3%	54	46.8%	53.2%	52	46.2%	53.8%	48	361,293	43	27,622	21
52	下関市	108,588	51	50.6%	49.4%	32	50.6%	49.4%	31	50.2%	49.8%	28	471,141	1	61,643	4
53	高松市	132,068	15	51.1%	48.9%	27	51.3%	48.7%	27	49.2%	50.8%	32	429,250	6	0	-
54	松山市	99,112	58	49.4%	50.6%	41	51.3%	48.7%	28	50.4%	49.6%	25	389,236	18	23	51
55	高知市	114,461	42	50.9%	49.1%	30	51.3%	48.7%	26	50.5%	49.5%	24	424,181	10	12,691	40
56	久留米市	114,893	41	51.8%	48.2%	24	53.0%	47.0%	19	47.5%	52.5%	42	385,236	25	19,732	27
57	長崎市	117,402	37	50.0%	50.0%	38	50.2%	49.8%	36	48.6%	51.4%	35	469,244	2	566	49
58	佐世保市	111,796	45	50.4%	49.6%	34	49.0%	51.0%	44	47.3%	52.7%	44	403,167	13	24,093	22
59	大分市	100,119	57	46.7%	53.3%	53	47.7%	52.3%	47	45.7%	54.3%	50	435,131	5	0	-
60	宮崎市	124,638	30	48.6%	51.4%	44	49.2%	50.8%	41	47.6%	52.4%	41	366,677	41	37,281	12
61	鹿児島市	100,955	55	48.5%	51.5%	46	50.7%	49.3%	30	48.1%	51.9%	37	455,724	3	0	-
62	那覇市	98,158	59	60.7%	39.3%	5	58.8%	41.2%	8	48.8%	51.2%	34	350,359	47	0.01	52
平 均		122,182		51.6%	48.4%		51.6%	48.4%		49.3%	50.7%		378,223		24,144	

基金残額を保有する市

52市/62市

令和6年度 1人当たり調定額、保険税の応能・応益割等の状況【県下19市】

<出典>

- ・ 1人当たり調定額、1人当たり保険給付費、1人当たり基金現在額 … 松本市による県下19市に対する調査結果（令和7年6月調べ）
- ・ 保険税の応能・応益割 … 県提供の事業年報速報値（令和7年8月1日調べ）

		1人当たり 調定額		保険税の応能・応益割※令和6年度									1人当たり 保険給付費		1人当たり 基金現在額	
				医療分			支援分			介護分						
		金額（円）	順位	応能%	応益%	応能割 順位	応能%	応益%	応能割 順位	応能%	応益%	応能割 順位	金額（円）	順位	金額（円）	順位
1	松本市	130,866	1	60.4%	39.7%	3	63.4%	36.6%	2	61.2%	38.8%	1	379,008	3	15,250	18
2	長野市	115,277	5	60.0%	40.0%	4	58.6%	41.4%	5	52.4%	47.6%	12	378,004	4	20,082	15
3	上田市	100,311	15	49.6%	50.4%	18	50.5%	49.5%	17	50.8%	49.2%	14	387,159	1	40,180	10
4	岡谷市	124,906	2	53.1%	46.9%	11	52.2%	47.8%	12	48.0%	52.1%	17	376,909	5	11,900	19
5	飯田市	100,907	13	57.8%	42.2%	5	63.3%	36.7%	3	57.5%	42.5%	3	356,234	14	22,558	14
6	諏訪市	119,483	4	55.8%	44.2%	7	55.5%	44.5%	7	53.5%	46.5%	8	355,222	15	29,345	12
7	須坂市	110,911	8	60.6%	39.4%	1	65.4%	34.6%	1	54.5%	45.5%	6	351,968	16	54,866	6
8	小諸市	100,664	14	50.3%	49.7%	17	53.5%	46.5%	10	52.9%	47.1%	10	362,333	10	41,321	9
9	伊那市	110,118	9	51.3%	48.7%	16	51.3%	48.7%	16	53.0%	47.0%	9	335,326	19	46,185	8
10	駒ヶ根市	106,218	11	53.7%	46.3%	10	54.1%	45.9%	8	51.9%	48.1%	13	362,267	11	75,362	1
11	中野市	84,883	19	60.5%	39.5%	2	60.9%	39.2%	4	59.1%	41.0%	2	360,619	13	33,522	11
12	大町市	93,621	18	46.7%	53.3%	19	43.7%	56.3%	19	47.6%	52.5%	18	382,303	2	67,648	4
13	飯山市	94,913	17	52.3%	47.7%	14	52.1%	47.9%	13	56.2%	43.8%	4	367,912	9	60,784	5
14	茅野市	113,257	7	51.5%	48.5%	15	51.4%	48.6%	15	49.5%	50.5%	16	339,279	18	16,247	16
15	塩尻市	123,693	3	52.3%	47.7%	13	52.8%	47.2%	11	52.5%	47.5%	11	351,635	17	23,291	13
16	千曲市	96,869	16	54.9%	45.1%	9	51.5%	48.5%	14	45.8%	54.2%	19	374,876	6	68,424	3
17	佐久市	113,935	6	52.4%	47.6%	12	53.9%	46.1%	9	53.8%	46.2%	7	368,799	8	69,718	2
18	東御市	104,209	12	56.3%	43.7%	6	56.1%	43.9%	6	50.6%	49.4%	15	362,232	12	46,547	7
19	安曇野市	108,640	10	55.2%	44.8%	8	50.3%	49.7%	18	54.5%	45.5%	5	373,589	7	15,909	17
平 均		108,088		54.5%	45.5%		54.8%	45.2%		52.9%	47.1%		364,509		39,955	

基金残額を保有する市

19市/19市